

科目名	肢体・病弱演習			担当教員	谷 浩一、永井 祐也	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング		
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験	教諭（講師含む）					
実務経験を生かした授業内容	教諭等として関わった児童生徒の学校生活全般、および保護者や兄弟姉妹の支援の様子等を演習に反映させる。（谷）					
到達目標及びテーマ	特別支援学校の「自立活動」の時間において、肢体不自由児に対して多く実施される動作法に関して、実技を通していくつかの手技を習得する。（谷） 病弱児を対象とする個別の指導計画や学習指導案の作成方法を理解し、架空の病弱児を対象とした自立活動の学習指導案を作成する。（永井）					
授業の概要	肢体不自由児、病弱児教育における実際の授業展開に必要な各教科、自立活動等の学習指導案作成や授業づくりの基本的な考え方を概説する。それを基に肢体不自由児、病弱児一人一人の実態を踏まえた各教科、自立活動等の学習指導案の作成に取り組む。また、自立活動の時間に実施される支援技法を体験する。					

授業計画	
第1回	本演習の概要（担当：永井）
第2回	病弱児の実態把握と学習指導案の作成（担当：永井）
第3回	病弱児の実態把握と個別の指導計画の作成（担当：永井）
第4回	小児がんと医療提供体制（担当：永井）
第5回	小児がんと復学支援（担当：永井）
第6回	復学に向けた自立活動（担当：永井）
第7回	病気・健康に関する自己管理と他者管理（担当：永井）
第8回	自立活動における提案・交渉（担当：永井）
第9回	病弱演習におけるまとめ（担当：永井）
第10回	動作法の成り立ちと基本的な考え方、効果紹介（担当：谷）
第11回	動作法演習（臥位での課題：膝ののばしゆるめ、足首のまげゆるめ、等）、効果紹介（担当：谷）
第12回	動作法演習（臥位での課題：軀幹ひねり、腕上げ、腰ののばしゆるめ（両脚を曲げていく方法で）、等）、「ゆっくり」の解説（担当：谷）
第13回	動作法演習（坐位での課題：肩のひろげゆるめ、肩の上げ・下げゆるめ、股のまげゆるめ、等）（担当：谷）
第14回	動作法演習（坐位での課題：背のそらせゆるめ、背のそらせゆるめ（左方・右方）、等）、姿勢・動き以外の効果紹介（担当：谷）
第15回	動作法演習（膝立ち・片膝立ちでの課題：股ののばしゆるめ、立位での課題：左右の重心移動・踏みしめ課題、等）（担当：谷）

事前学修	0.5時間	教科書、参考資料を使って下調べ、レポートや発表資料の作成等
事後学修	0.5時間	授業で指示された課題への取り組み
フィードバックの方法	前時の振り返りを行い、課題があれば授業中、その都度ごとに質問や意見を求め、形成的評価に努める。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	40%	永井：授業期間内に課されるレポート課題（2回）
上記以外の試験・平常点評価	60%	谷：授業への積極的な参加（40%）、永井：授業への積極的な参加（11%）、小レポート(9%)

補足事項	原則、「病弱者の教育」（後期）を履修済みであること。
------	----------------------------

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
標準「病弱児の教育」テキスト改訂版	一般社団法人日本育療学会	ジアース教育新社	978-4-86371-618-6	なし
よくわかる肢体不自由教育	安藤隆男・藤田継道	ミネルヴァ書房	978-4-62309-483-7	なし
参考資料	特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則等編（幼稚部・小学部・中学部）（文部科学省） 特別支援学校教育要領学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（文部科学省） 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（文部科学省） 障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（文部科学省）			